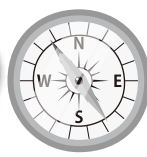


地質館だより



地質のメッカ 佐川

「佐川は地質のメッカである」と言われます。その理由は、この地が日本の地球科学史上、最もドラマチックな学説の衝突の舞台となったからです。

一人は地質学者・小林貞一教授。彼は中生代の造山運動を「佐川造山運動（佐川サイクル）」と名付け、地殻が垂直方向に沈降し、再び隆起するという規則的な「造山輪廻」を提唱しました。彼にとって佐川は、そのサイクルを実証するための聖地でした。

一方、江原真伍博士は異なる視点を持ちました。地層のねじれに着目し、太平洋側から水平に押し寄せ、もぐり込むダイナミックな力があったと主張。小林教授の説く「垂直」に対し、江原博士は「水平」という地殻変動の本質を見出したのです。

つまり佐川盆地は、小林教授にとっては「垂直な造山輪廻」を語る場所であり、江原博士にとっては「水平なプレート運動」を語る場所でした。二つの巨大な学説が激突した知の最前線だったのです。

この論争の決着は、江原博士の死後、江原博士の考えに近いプレートテクトニクスが定説となることで決着しましたが、小林教授は晩年「土佐の佐川は日本地質の国際的な名所である」と評しました。今も佐川の地層は、真理を追い求めた先人たちの情熱を物語っています。

今回の展示解説では、佐川町で2人が見つけたそれぞれの説を支持する証拠について解説しますので、是非ご来館ください。

10月の地質館イベント

10月21日（水）午後～23日（金）午前 ティラノサウルス公開メンテナンス
10月25日（日）11：30～& 14：30～（20分程度）「垂直か水平か？小林博士と江原博士の学説」

佐川町立 桜座

佐川町甲 346 番地1 電話 0889-22-7878 休館日：月曜



§桜座スタインウェイピアノ試奏会§

内 容：桜座大ホールにあるグランドピアノの有料貸出
日 時：11月4日～6日、11月10日～13日、11月17日～20日
9:00～17:00*1時間単位の利用（連続利用は2時間まで）
料 金：1時間あたり1,100円
申込方法：桜座窓口もしくは電話(22-7878)*先着順
※事前のピアノ調律、舞台空調、音響反射板はありません。
※期間内にホール貸館の利用希望があった場合、貸館利用を優先する場合がございます。



第14回 桜座ロビーコンサート

出演者募集!! (12組程度)

日 時：12月19日（土）13:00～17:00(予定)
会 場：桜座2階ロビー（ホワイエ）
持ち時間：1グループ15分（設営・撤去時間込）
使用楽器：アコースティック楽器（アンプ無し）
出演費用：500円
申込方法：桜座窓口もしくは電話(22-7878) 応募〆10月22日（木）
*応募多数の場合は全体のバランス等を考慮し選定となります。予めご了承ください。



(R7.12.20開催時)

広報さかわ R8.10 34

青山文庫だより

特別展がはじまります

9月19日（土）より、当館メインの展示室全体を使って開催する特別展「青山文庫のコレクション」がはじまります。

この展示は、①青山文庫の歴史、②田中光顕^{みつあき}寄贈資料、③幕末維新関係資料、④深尾家関係資料、⑤西谷文庫の5つのコーナーで構成されています。

①では、明治43（1910）年創設の川田文庫からはじまり、青山文庫（財団法人青山会運営の旧青山文庫）、高知県立郷土文化会館分館青山文庫、佐川町立青山文庫へとつながっていった青山文庫の歴史をとおして、どのように資料がコレクションされ継承されてきたのかを俯瞰^{ふかん}します。

それを前提に、所蔵しているコレクションを②から⑤の4つに分けて紹介し、コレクションの総体をお見せする内容となっています。

②は、田中光顕や彼の子孫によって青山文庫に寄贈（寄付）された資料群

で、当館のメインコレクションとして知られる志士たちの遺墨や、皇室関係資料、光顕の旧蔵書約13,000冊などを指します。

③は②によって博物館要素を強めた旧青山文庫において、館長の川田豊太郎をはじめとする地元有力者たちもまた幕末維新期の資料を熱心に収集するようになりまし。その結果、多くの幕末維新関係資料が収蔵されるようになりますが、さらに「青山文庫は幕末維新期の博物館」という印象が強まり、該当期の資料をわざわざ寄贈してくださる方が多くなるという状況につながり、結果的に青山文庫に幕末維新関係資料が多く収蔵されることとなりました。それらのコレクションを時代でまとめて「幕末維新関係資料」と総称しています。厳密に言えば、②も該当する呼称ですが、現時点では②以外のものとなっています。

④は、江戸時代に佐川の領主であった土佐藩筆頭家老・佐川深尾家にまつわる資料や、同時代の資料として佐川領にまつわる資料などです。数は少ないですが、当時の佐川の様子を知る貴重な手がかりとなっています。

⑤は、②～④とは少し趣を異にしま

すが、佐川出身で、その生涯を『セルボーン』の博物館誌』の翻訳と研究に捧げた西谷退三の蔵書コレクションを指します。西谷文庫は、和書と洋書を合わせ約10,000冊にものぼり、西谷の研究対象である『セルボーン』の博物館誌』自体のコレクションや、『解体新書』やダーウインの『種の起源』の日本最初の和訳本など、多数の稀少本^{きせうほん}を含んでいます。

どの資料群も、今まで展示をしたところがあるものですが、「青山文庫のコレクション」として総体を示すのははじめてです。今後、「青山文庫のコレクション」と題して個別の資料群を紹介する企画展を展開していく予定です。この特別展をまずはご覧ください。（藤田有紀）

〈展示案内〉

○特別展「青山文庫のコレクション」
○小展示「植物学者・牧野富太郎」
9月19日（土）～12月13日（日）

〈臨時休館のお知らせ〉

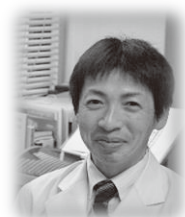
展示替作業のため、9月16日（水）から18日（金）まで臨時休館します。

広告

循環器内科・外科・整形外科

高血圧、不整脈などはもちろん、生活習慣病など幅広く診察します

田村カルディオクリニック（旧田村外科）いの町波川 R33 沿い



循環器専門医

☎088-893-5712 水曜午後外科休診 金曜午後循環器内科休診

田村親史郎 茅ヶ崎徳洲会病院 聖路加国際病院ハートセンター 高知大学医学部附属病院等で研鑽を積み実家医院に戻りました。病気を抱えながらも、安心して健やかな日々を過ごせるようお手伝い致します。